

No.	カテゴリー	意見	方針
1	コロナ	新型コロナの影響による新しい生活様式をどう把握し、議論していくのか？ またどこに記述するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者等へのヒアリング・意見募集を実施する ・「情報のバリアフリー」の中で考慮する ・第4回改定委員会で議論・検討する ・第4章「実現にあたって」の中で生活様式の変化に触れる
2	コロナ	コロナにより経営状況がひっ迫している交通事業者にどう実効性のある計画を依頼していくのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回、第3回の改定委員会に向けて、各事業者とのヒアリング調整をする中で、十分配慮しながら進める
3	コロナ・心のバリアフリー	コロナの影響により移動の介助の方法などが課題となっているが、どこで議論するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉計画等と記載内容の調整を行う
4	福祉交通	「タクシー事業者等」とあるが、福祉の移動サービスは含まれるのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の基本構想と同様に、「その他の事項」において、「レモンキャブ」や「つながり」についての記載を行っている
5	駅前広場 バス事業者	吉祥寺駅北口のバスターミナルが正しく正着できていないが、どこで議論するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の改修などハード改善の可能性を模索しつつ、心のバリアフリーの一環として運転手への接客教育の充実を図る ・ネットワーク会議等で、バス事業者と連携を図り、状況改善に努めたい
6	心のバリアフリー	「心のバリアフリー」では他の計画との関連図を作成してもらいたい。どこまでをこの都市基盤分野で議論するのか、前提条件をはっきり示してもらいたい	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想における「心のバリアフリー」について、他の関連個別計画との関係性や所管範囲をわかりやすい図で表現する
7	委員会スケジュール	関連個別計画に対する位置づけや連携については「第5回」となっているが、もっと早められないか？	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2回」または「第3回」など、スケジュール案よりも早い段階で、各関連計画との位置づけを明確化し、示す
8	心のバリアフリー	「人の介助」は心のバリアフリーのひとつだが、心のバリアフリー事業ではない。心のバリアフリー事業について、正しく理解することが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・「心のバリアフリー事業」と「教育啓発特定事業」について、わかりやすい資料を提示する。
9	避難所	学校施設は避難所としての役割もある。 車椅子の人が自分で避難所に行けるよう、道路整備も検討する必要性が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・防災課、高齢者支援課及び障害者福祉課と調整を図り、発災時における当事者の避難所へのアプローチのあり方について検討する
10	情報バリアフリー	コミセンのバリアフリー施設マップは、最終的にどのような形で当事者に情報提供するのか。 一元的に提供できるのか。 誰がマップを作成し情報提供するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・施設マップは施設管理者が作成し、設置することを想定している。 ・ガイドライン等においても、情報は一元的に扱うことが示されているため、当事者にどのように提供するのか、「情報のバリアフリー」に関する事業で議論する
11	重点整備地区 範囲設定	西部地区(桜堤)に福祉施設の建設が進んでいるのであれば、その地区を飛地で重点整備地区に指定するなど考えてはどうか？	<ul style="list-style-type: none"> ・施設特性や利用形態、施設への移動手段などを把握した上で、改めて検証する
12	総括	議論が発散するため、バリアフリー基本構想の守備範囲を明確化する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想について、他の関連個別計画との関係性や所管範囲を、わかりやすい図で表現する